

新潟に久々の大雪

車と雪の格闘があちこちで

車にまつわる雪情報



今年の大雪、皆さまご苦労様です。

ロダン君も、駐車場確保のために降雪と格闘しています。

新潟市民は、雪に慣れておらずあちこちで、雪のトラブル情報を耳にします。

今月は、車に関する雪情報をお届けします。

（その1）車に標準装備となってきた、『LEDヘッドライト』

対向車が、白い光を放つヘッドライトが増えてきました。

これらの多くは、『LEDヘッドライト』です。

夜間運転中は、道路の全面が均一に明るく照らされ、快適な運転ができます。

省エネでもあり、ゆうことがないようですが、**思わぬ欠点**がありました。

『吹雪やボンネットの雪がライトに付着しても、熱で溶けません。』

特に吹雪の時には、信号で停まるごとに、車から降りてライトに付いた雪を除くことが賢明となります。夜間運転中は覚えておいて、実行を。

（その2）雪が降る前に、車に常設したいもの

当事務所は、降雪前に全車に必ず次の物を準備をします。

- ① ミニスコップ ② スノーブラシ ③ 解氷スプレー ④ 板（数枚）

しかし、今年はこれでは足りません。ロダン君が運転する車には

- ⑤ 大形スコップ ⑥ 長靴 ⑦ 水（ペットボトル） ⑧ **スタックステップ**
⑨ スキーウエアー ⑩ 手袋 などフル装備です。

⑧は、抜かった（スタック）時の脱出板（ステップ）です。

（その3）牽引がでにくい車があります。

抜かった車の最後の脱出法として、『牽引してもらう』があります。

最近のワゴン車には、牽引をする(してもらう)接続部分が見当たらない場合があります。

マニュアルを見ると、牽引をするロープの接続部分を自分で作らないといけません。

車内の工具箱の近くに、ネジ式の牽引金属があり、車の前後のバンパー付近の飾り(?)部分を外して、車体側にネジ式で固定します。

もしもの時に慌てないよう、一度マニュアルを確認してみることをお勧めします。

（その4）雪道(特に高速道路)は、ゆとり運転で！

1月上旬、関越道を走行中、前の車が突然スピン。

危うく正面衝突するところでした。

これを回避できたのは、『前の車、雪道慣れていないなあ』と感じさせる運転でした。

休日の高速道路は、道路壁面がロータリー車で角きりがきっちりなされていないことが多くあります。この場合走行面と雪の境がはっきりしない時は、

追い越し車線に暴走車が来ない時は、少し中央よりを走行します。

そうでないと、突然、ハンドルを取られる(雪の壁に突っ込む)ことがあります。

慌ててブレーキ、ハンドルを切るとスピンして後ろの車と正面衝突となります。

こんな車がいたら、とにかく車間距離を取るようにこころがけるか、追い抜くかです。

ロダン君は、過去にスピン歴1回、スピン車の回避歴は、10回程度あります。

雪道は、ゆとり運転に心がけてください。

万代つばさグループ代表
発行者 八百板 誠

(税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士)
(八百板誠行政書士事務所)

事 務 所 : 新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地 (8階建の1階奥です)
025(228)4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者(当事務所)がこれを保証するものではありません。